「浅間山噴火を想定したロールプレイング方式防災訓練」実施報告

日　時　　平成２７年2月3日（火）１３：００～１６：００
場　所　　利根川水系砂防事務所
参加機関　４０機関　　利根川水系砂防事務所、長野国道事務所、群馬県、長野県、嬬恋村、長野原町、佐久市、小諸市、御代田町、軽井沢町、気象庁、自衛隊、警察、消防など
参加者　　１１２名（内見学者２０名）
主　催　　浅間山火山防災協議会・利根川水系砂防事務所

実施目的

浅間山噴火時の防災対応を円滑かつ効果的に実施するためには、平常時からの防災訓練が重要になります。

このため、浅間山周辺の自治体及び防災関係機関等から構成される浅間山火山防災協議会では、浅間山噴火時の防災対応の確認と関係機関の情報共有の実践を目的としたロールプレイング方式の防災訓練を実施しました。

本訓練は平成19年度から実施され、今回が８回目になります。

防災訓練のシナリオ

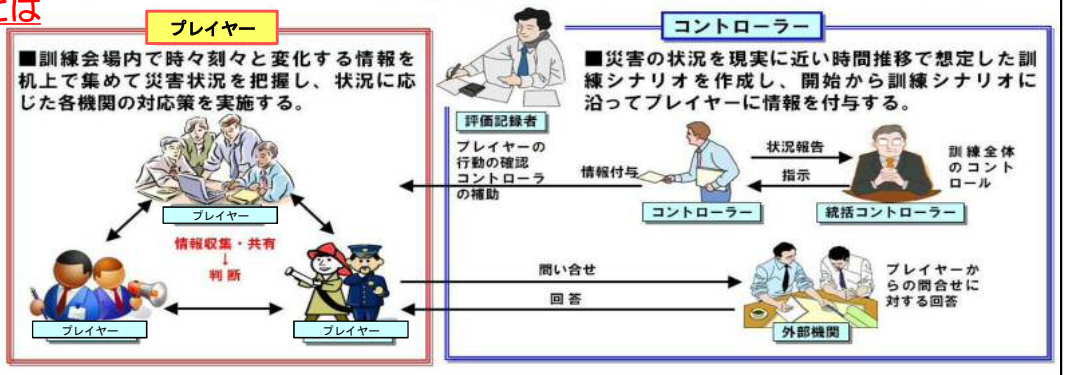
①訓練実施前の状況
●訓練前提条件
2月3日　積雪深　車坂峠　47cm
天候　晴れ　気温-3℃　予想最高気温　2℃
風　西風3.2m/s（気象庁　田代観測所）

②訓練開始
●13時50分　気象庁より噴火警戒レベル２の発表
●14時20分　小規模噴火発生　山ｽｷｰ登山者5名救援要請
●14時50分　気象庁より噴火警戒レベル３強の発表（中規模噴火の切迫）
●15時20分　中規模噴火発生
●15時25分　気象庁より噴火警戒レベル５の発表
●15時40分　融雪型火山泥流被害の確認

ロールプレイング方式訓練とは

防災訓練には実働型と図上型があり、ロールプレイング方式防災訓練は図上型です。

机上で情報を集めて、災害状況を疑似体験し災害対策の一員として、どのように対応していくかを習得するための訓練です。（疑似体験訓練法）



プレイヤー訓練全景

コントローラー訓練全景

参加機関の各プレイヤー訓練状況

講評

荒牧重雄東大名誉教授

「規模・質とも日本有数の訓練だが、訓練を重ね想定外にも対応できるよう頑張ってほしい。」

神野忠広事務所長

「災害には想定外のこともある。噴火警戒レベルが変わるタイミングを踏まえ対応を考えてほしい。」